

新鮮な音色

珍しいクロマチック アコーディオンの演奏会

豊中市

江戸時代
の庄家

を利用した・桜の庄兵衛ギャラリー（豊中市中桜塚二丁目）の「六月の風コンサート」が六月二十九日に開かれ、同市出身のクロマチックアコーディオン奏者、かとうかなこさん（三巴）とギタリストの川瀬真司さん（四毛）が出演した。

かとうさんは幼少のころからアコーディオンを始め、高校卒業後に本場



息の合った演奏を披露するかとうさん（左）と川瀬さん

「Le ciel」「ひだまり」など十四曲を披露された。かとうさんは日本では珍しいボタン式の手風琴クロマチックアコーディオンを時には激しく時には優しく演奏。川瀬さんもセッションでギターを巧みに操り、昼と夕の部を合わせて約百八十人の聴衆を魅了した。

また、演奏の合間にかとうさんがアコーディオン豆知識、フランスの暮らしなどをユーモアたっぷりにトーク。聴衆を大いに楽しませた。

同ギャラリー主宰の奥野孝子さん（五巴）は「今まで聞いたことのない新鮮な音で感動しました。これからいろいろな楽器を紹介していきたいと思えます」と話していた。

フランスに四年間留学。帰国後は大阪を中心に演奏活動を精力的に行っている。川瀬さんは、ミュゼットやジャズ・マヌー・ギター「マカフェリ・ギター」を弾きこなす日本では数少ないミュゼットギタリスト。

コンサートでは、かとうさんのオリジナル曲

（杉本康記者）